男鹿市船越ポンプ場　大規模雨水処理施設整備事業計画（第１回変更）

（様式１）

<table>
<tr><td>項　　目</td><td colspan="4">内　容　・　施　策　等</td></tr>
<tr><td>選定理由</td><td colspan="4">船越ポンプ場は、船越第六排水区の雨水排水の処理をしており、豪雨による市街地の浸水被害を防止し安全安心な住環境の構築に寄与している施設である。
供用開始より43年が経過し、老朽化が進行しており、ポンプ室の建物は、現在の耐震基準を満たしていないことから､適切な雨水排水機能を確保するため改修を行う必要がある。
また、ストックマネジメント計画において修繕改築計画を策定している。</td></tr>
<tr><td>整備目標</td><td colspan="4">①　本計画における対象降雨
・本計画における対象降雨：45.8mm/hr（5 年確率降雨）
・目標とする理由：男鹿市公共下水道事業計画で定める計画降雨 45.8mm/hr とする。
・ハード整備による整備水準の目標：45.8mm/hr　（5年確率降雨）

②　目標設定
ⅰ)生命の保護の観点　　：ポンプ排水機能を適正に確保することにより、当該排水区に存在する住宅の浸水被害を防止する。
ⅱ)都市機能の確保の観点：ポンプ排水機能を適正に確保することにより、都市インフラの機能確保を図る。
ⅲ)個人財産の保護の観点：ポンプ排水機能を適正に確保することにより、排水区全体の浸水安全度を高める。
ⅳ)その他　　：特になし</td></tr>
<tr><td>項　　目</td><td colspan="4">内　容　・　施　策　等</td></tr>
<tr><td>内水ハザードマップ策定状況</td><td colspan="4">・　無
・策定予定（令和 10 年 3 月 31 日まで策定予定）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">主な事業内容</td><td rowspan="2">公助</td><td rowspan="2">ハード対策</td><td>下水道管理者</td><td>・船越ポンプ場の改修　排水能力 52.0m3/分
雨水ポンプ：Φ　500 ㎜(水中ポンプ)　2 台
ポンプ室：1 棟(鉄筋コンクリート造)
電気設備：1 式(配電設備等)
付帯設備：1 式</td></tr>
<tr><td>下水道管理者以外</td><td>－</td></tr>
</table>

		ソフト対策	下水道管理者	・雨水出水浸水想定区域図の作成
			下水道管理者以外	・内水ハザードマップの作成・公表(男鹿市防災担当)
	自助	ハード対策		―
		ソフト対策		―

年度計画（百万円）

名称	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	計
効率的改修方針策定業務	10						10
実施設計	85 0	49					85 49
土木・建築工事		146 0	339 0	239	214	76	485 529
機械・電気設備			248 0	577 165	166	0	825 331
撤去設計 ―				20 0			20 0
撤去工事 ―					68 0	157 0	225 0
耐震補強工事 ―				50 0			50 0
積算資料作成				5	5	6	16
工事監理業務				9	14	5	28
計	85 10	146 49	587 0	647 418	68 399	157 87	1,690 963

備考）土木・建築工事に耐震補強も含む。

上段：変更前黒字

下段：変更後赤字

項　　目	内　容　・　施　策　等
整備効果	設置から 43 年経過している船越ポンプ場について、雨水排水機能を適切に確保する。 （45.8 ㎥/分、5 年確率降雨）
放流先河川との調整状況	既存施設の改築であり、計画排水量は変更しないため放流先河川への影響はない。
その他	－